

第3回転倒災害防止コンテスト 表彰事例発表

盛岡労働基準監督署では、転倒災害防止するための取組事例を管内事業場から募集・表彰する第3回転倒災害防止コンテストを開催しました。

同コンテストにおいては、転倒災害防止対策として重要な「見える化」「設備改善」「体づくり」「リスク低減」の観点から応募事例の審査を行い、他の事業場の参考になるものを選出し、表彰しました。各事例を参考として転倒災害防止に取り組みましょう。

*今回紹介した事例以外の応募事例については、後日事例集として公表予定です。

表彰者一覧

「見える化部門」

菱和建设株式会社 盛岡西国道西地区維持修繕工事（雫石町）
岩手農協チキンフーズ株式会社 八幡平工場（八幡平市）
有限会社二和木材（滝沢市）

本リーフレットは
岩手労働局HPの「盛岡
監督署からのお知らせ」
コーナーに掲載しています！



「設備改善部門」

岩手缶詰株式会社 渋民工場（盛岡市）
小岩井乳業株式会社 小岩井工場（雫石町）
株式会社タカヤ
岩手山麓地区北部幹線工事作業所（盛岡市）
森永乳業株式会社 盛岡工場（盛岡市）



「体づくり部門」

株式会社佐藤建設（岩手町）
株式会社ベルジョイス（盛岡市）
菱和建设株式会社（盛岡市）

「リスク低減部門」

東北電力ネットワーク株式会社
盛岡電力センター（盛岡市）

前列左から、(株)佐藤建設、(株)ベルジョイス、菱和建设(株)、
署長、森永乳業(株)盛岡工場、(株)タカヤ、小岩井乳業(株)小岩
井工場
後列左から、安全衛生課監督官、岩手缶詰(株)渋民工場、(有)二
和木材、菱和建设(株)盛岡西国道西地区維持修繕工事作業所、
岩手農協チキンフーズ(株)八幡平工場、東北電力ネットワーク
(株)盛岡電力センター、安全衛生課長 (敬称略)

〇見える化部門

菱和建设株式会社
盛岡西国道西地区維持修繕工事（雫石町）

取組ポイント

①塗装の塗り直し、②踏面に滑止テープ貼り、③足元
注意の掲示、④LEDチューブライトの設置、⑤床面に
ゴムマットを敷き、転倒防止を強化した。



監督署より

・暗くて滑りやすい箇所であったが、様々な改善を
行い、雪による転倒リスクもゴムマットで軽減。
LEDチューブライトは明るく足元を照らし有効。踏
面には滑止テープなど、アイデアを凝らし随所に
安全対策が施されている。

○見える化部門

岩手農協チキンフーズ 八幡平工場（八幡平市）

取組ポイント

- ・工場内のマップを作成、作業員が気付いた都度に「す(滑る)」「つ(つまづく)」「せ(狭い)」のシールを貼り、危険箇所を把握。改善後にその内容も掲示している。



監督署より

- ・危ないと思った時、直ぐにそれをシールで把握できるし、シールが多いほどリスクが高く早めに改善。改善結果も含めて見える化を図っている。「全員参加型」の取組としていいですね。

○見える化部門

有限会社二和木材（滝沢市）

取組ポイント

- ・上空からの撮影写真を活用し、構内マップを作成。作業員が気付いた時にフセン紙を貼り付けることで危険箇所を見える化。把握した危険箇所は必要な対策の上、対策マップを作成しさらなる「見える化」。



監督署より

- ・作業員がメモを貼り付け、さらに改善結果のマップも作成し、二段階の見える化を徹底している。これも「全員参加型」の取組としていいですね。



○設備改善部門

岩手缶詰株式会社 渋民工場（盛岡市）

取組ポイント

- ・通路コーナー部分に「ドーム型ミラー」を設置。出合い頭衝突による転倒を防止。



監督署より

- ・通行の支障にならないようスペースを考え、天井に設置したことによって視認性がグッと向上しています。パレットを積んだハンドリフトの操作でも有効です。



○設備改善部門

小岩井乳業株式会社 小岩井工場（雫石町）

取組ポイント

- ・タンクローリー乗降口付近は路面が凍結し、かつ傾斜があり転倒リスクが高かったが、ステップを設置し、転倒防止を図った。



監督署より

- ・トラック乗降の際に滑る危険があり、この問題に対して、手すり付きのステップを設置。乗降が楽になり、さらに転倒リスクも大幅に改善されている。素晴らしい改善ですね。



○設備改善部門

株式会社タカヤ

岩手山麓地区北部幹線工事作業所（盛岡市）

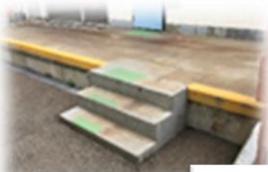
取組ポイント

・積雪が多く寒冷な作業環境に対し、施工範囲全域をビニールシートでトンネル状に覆った。積雪と寒冷な作業環境の改善、さらに明り取りを両立した。



監督署より

・農業用ビニールハウスを応用した素晴らしいアイデアです。ビニールシートなので明るく、温室効果もあり作業環境改善+転倒リスク低減。除雪作業から解放され作業効率アップ間違いなしですね。



○設備改善部門

森永乳業株式会社 盛岡工場（盛岡市）

取組ポイント

・プラットフォームの昇降は滑りやすい箇所ですが、階段以外の昇降防止として柵を設置、階段には手すりを設置し転倒防止を図った。

監督署より

・プラットフォームは転倒リスクが高い場所であり、この課題に対して柵の設置+階段の手すり設置で転倒を防止。この他、屋外作業時に着用するスノースパイク(着脱式)も備え付け、転倒防止に取り組んでいる。



○体づくり部門

株式会社佐藤建設（岩手町）

取組ポイント

・毎月の安全訓練教育において年2回程、スポーツ医・科学専門医やアスレティックトレーナーなどの外部講師を招き、機能的な身体の使い方や転倒予防対策に有効な運動等で転倒災害防止に取り組んでいる。



監督署より

・専門のトレーナーなど外部資源を活用した取組です。安全に作業を行うためにはその基本となる体づくりが重要です。計画的に取り組んでいる点も評価できます。これからも継続して転倒に強い体づくりをすすめましょう。



○体づくり部門

株式会社ベルジョイス（盛岡市）

取組ポイント

・7つの「ロコチェック」を社内ツールを活用し従業員に周知。各自チェックし対処していただき移動機能の向上で転倒災害防止に努めている。

監督署より

・商業の中でも小売業は転倒災害の多発業種である。「ロコチェック」を取り入れた体づくりに取り組んでいる。社内ツールはいつでも閲覧可能なもので動画教材も見る事ができる。この他、店舗の危険マップ作成、危険箇所にはPOPを掲示し見える化にも取り組んでいる。



○体づくり部門

菱和建设株式会社（盛岡市）

取組ポイント

・女性職員を対象とした転倒防止に関する社内研修で体操の実践指導。ヨガボールを使ったエクササイズを実施。10時・15時の体操時間で体づくりに取り組んでいる。



監督者より

・女性の転倒災害は多く、骨折のリスクも高い。この取り組みでは、女性職員が積極的にヨガボールを使ったエクササイズに取り組んでいます。楽しみながら運動習慣が身につくとよいですね。

○リスク低減部門

東北電力ネットワーク株式会社

盛岡電力センター（盛岡市）

取組ポイント

・外勤では常に転倒リスクがあり、設備改善は困難であるため、転倒で重症化しないよう、転倒対応用プロテクターを着用し被害軽減。



プロテクター



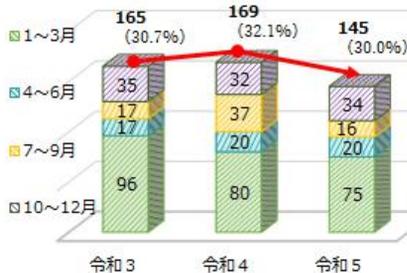
男性用正面 男性用裏面 女性用正面



監督者より

・新しい着眼点です。転んでも大きな怪我に至らないよう、また寒さ対策としても有効ですね。

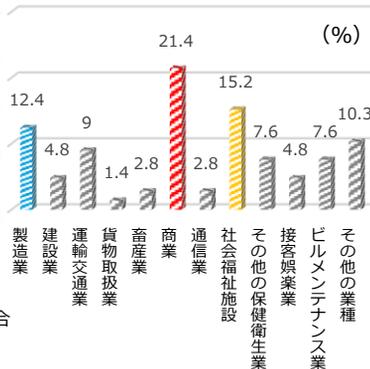
転倒災害発生件数の推移



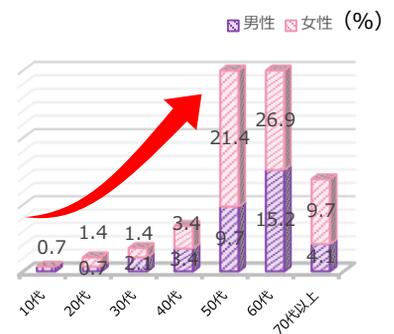
転倒災害は全災害の内数であり、(%)は全災害に占める割合

※転倒災害防止コンテスト：令和5年2月第1回実施

業種別転倒災害発生状況



年齢・性別転倒災害発生状況



署長コメント

- ・県内で最も災害が多い当署管内、その中でも「転倒」が非常に多いことから、転倒災害の減少を目指し、転倒災害防止にかかる取組事例を募集・表彰し、その内容を広く周知することにより、管内事業場全体の転倒災害防止の機運を高めることを目的に実施。令和5年2月に第1回（同年3月表彰式）、今回で第3回となり、延べ32社（34点）に対し表彰状を授与。事例は各回ごとHPに掲載。第3回表彰事例は素晴らしいものが多かった。
- ・令和5年の転倒災害は前年比12%の減少となった。管内各社の取組の成果であると考え。災害分析結果では、50代から顕著に増加している。高齢化の進展に伴い「エイジフレンドリーガイドライン」による対策が必要。体づくりに取り組んでいただきたい。業種では商業、社会福祉施設で多発（増加）しており、今後の課題である。
- ・第14次労働災害防止計画では転倒災害の減少を掲げており、更なる取り組みを進めたい。